

# Webメールシステム roundcube

## 簡易マニュアル

- ログイン方法
- 受信箱の操作方法
- 初期設定の方法
- アドレス帳の取り込み方

# ログイン

1/6

Webブラウザから指定のURLを開きます。

<https://vkurume.ktarn.or.jp/webmail/> (ウイルスメールチェックサービス加入時)

アカウントIDとパスワードでログインできます



## ※ご注意

接続制限をかけていますので、許可されていない回線からのアクセスではログイン画面は表示されません。

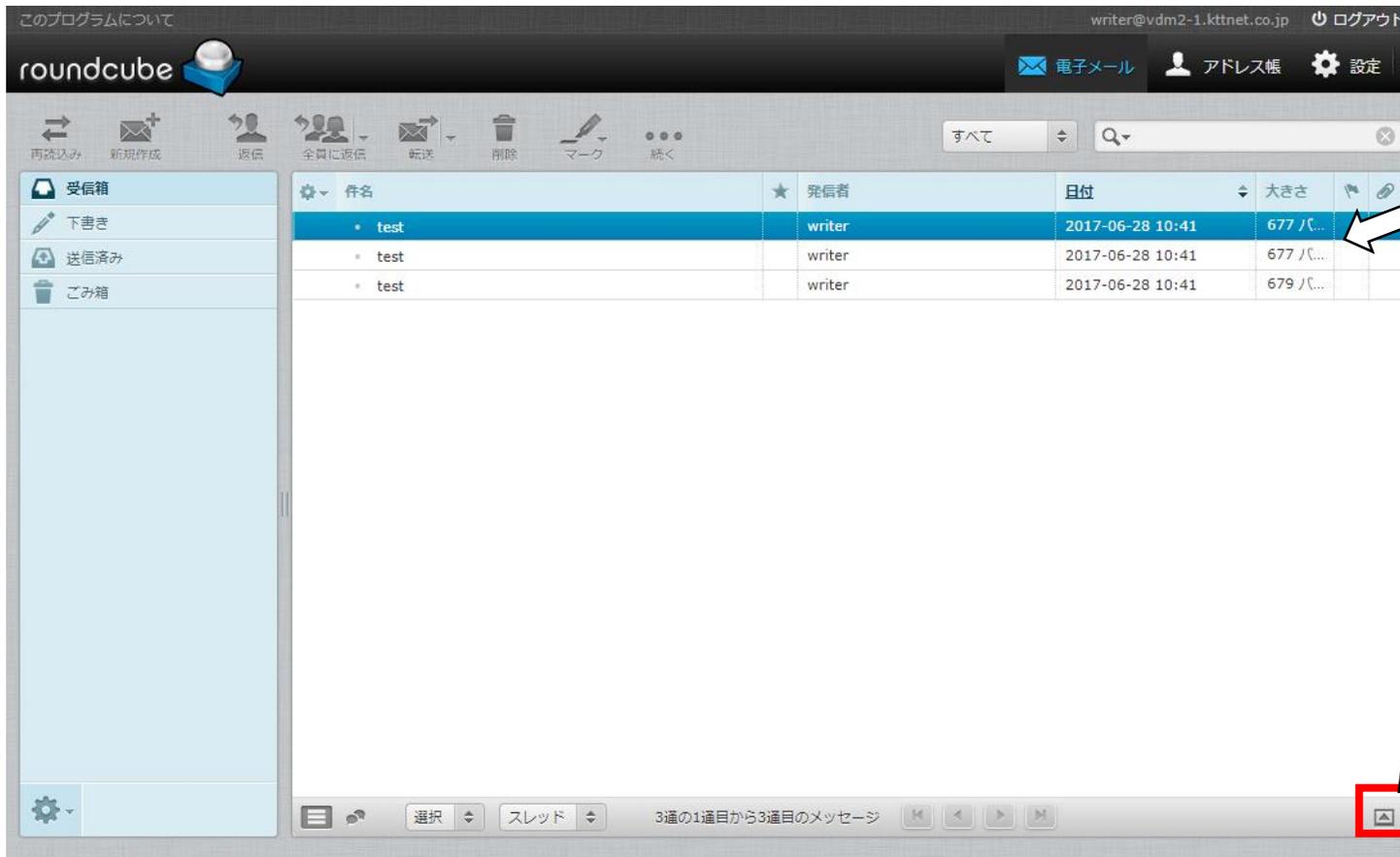
# 受信箱

2/6

ログインできると、受信箱の画面が表示されます。

届いたメールはすべてここに表示されます。

左上のロゴマークまたは、右上の「電子メール」をクリックすると、この画面に戻ります。



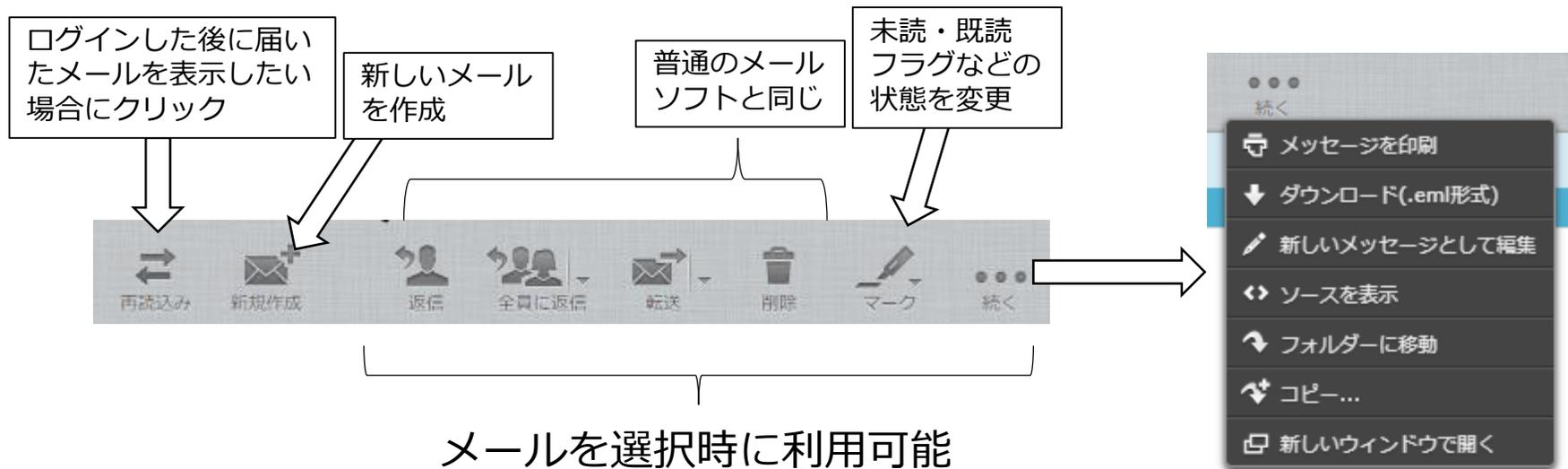
メール一覧では、1つのメールをクリックすると、そのメールが選択された状態になります。ダブルクリックすると、メールの内容が表示されます。

パソコンと同様に、CtrlまたはShiftボタンを押しながらクリックすると複数選択可能です。

逆三角マークをクリックすると画面が分割します。上部がメール一覧、下部がメールのプレビュー画面となります。

# メニュー項目 受信箱

受信箱を表示している際に表示されるメニュー項目の解説



※ダウンロードを行う事で、サーバ上のメールをパソコンに保存しておく事ができます。重要なメールは保存しておかれる事をおすすめします。パソコン上で表示させるには、eml形式が表示できるメールソフトなどが必要です。

右上の項目を指定する事で、一覧内のメールの絞込が行えます。



# 初期設定 1 メールアドレス等の設定

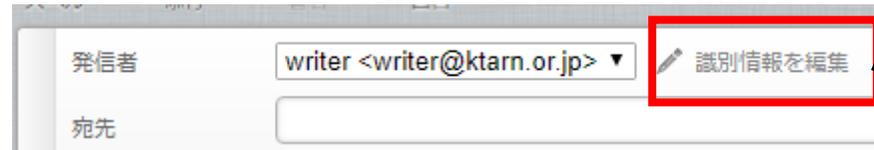
4/6

メールを送信するには、必要に応じてメールアドレス、表示名の設定が必要です。

1. 受信箱の画面上部「新規作成」ボタンをクリック



2. 発信者欄の右側「識別情報を編集」をクリック



3. 識別情報下のアカウントIDをクリックすると画面右側に「識別情報を編集」画面が表示されます。



4. 表示名に相手先が認識できる名前を入力、電子メールにご自身の電子メールアドレスを入力して、画面下部の「保存」ボタンをクリックします。



※署名を設定されたい場合はこの画面の下部にあります

メールアドレスにkurumeを付けたい場合はここを修正

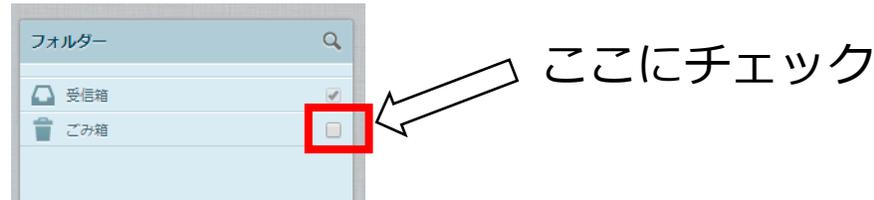
# 初期設定 2 ごみ箱フォルダの表示

初期の状態では、ごみ箱が表示されていません。  
ごみ箱を表示させないと、メールを削除することができません。

1. 画面左下の歯車のマークをクリックし、  
「フォルダーを管理」をクリック



2. 「フォルダー」項目内の「ごみ箱」にチェックを入れると  
ごみ箱が利用できるようになります。



3. お好みに、ログアウトした際に  
ごみ箱を自動で空にできます  
上記2の状態から画面左側の  
「設定」内の「設定」を開き  
「設定項目」内の「サーバの設定」  
を開きます。  
「ログアウト時にごみ箱の内容を消去」  
にチェック入れてください。



ここにチェック  
自分で削除する場合は不要

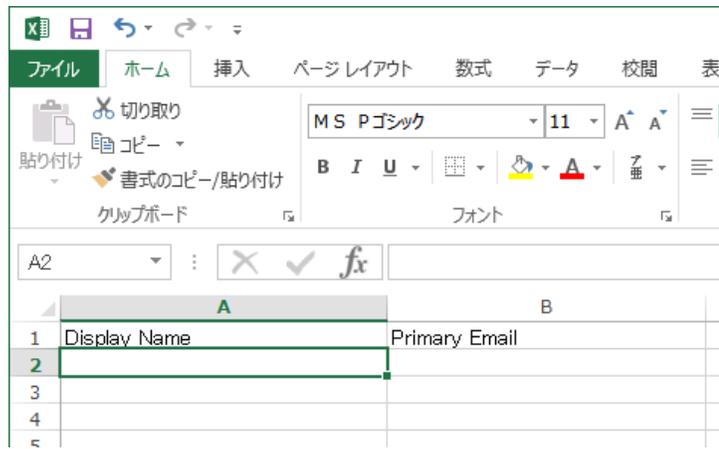
ログアウト時にごみ箱の内容を消去



# アドレス帳のインポート

6/6

メールソフトでアドレス帳をCSV形式でエクスポートできる場合、一括して取り込むことができます。  
2018年7月30日現在、テスト運用中ですので、将来的にデータを削除する可能性があります。



## 連絡先をインポート

連絡先を既存のアドレス帳からアップロードできます。  
現在、vCardまたはCSV(コンマ区切り)のデータ形式からアドレスのインポートをサ

ファイルからインポート  選択されていません

グループの割り当てをインポート

アドレス帳全体と置き換え

ただし、項目の認識が英語なので変更が必要です。  
エクスポートしたCSVをエクセルで開き、表示名とメールアドレス以外を削除し、1行目の項目名で「表示名」を「Display Name」  
「メールアドレス」を「Primary Email」と変更し、CSVとして保存します。  
その他に  
「First Name」「Last Name」「Note」「Primary Phone」「Web Page」  
「Group Membership」なども項目名として利用可能かと思われます

画面右上の「アドレス帳」を開きます。  
画面の左上の「インポート」をクリックします。

インポート画面で「ファイル選択」ボタンをクリックすると  
パソコンのファイルの選択画面が表示されます。  
さきほど保存したCSVファイルを指定します。  
「インポート」ボタンをクリックすると情報が取り込まれます。

※データの保持を保証できませんので、必ず元データは手元に保存してください。  
また、データを追加した場合は、適宜元データに追加する事をおすすめします。  
エクスポート機能がありますが、vcard形式のみなので、一括管理ができません。